

■インドネシア：高温ガス炉開発、日本と協力へ

2014年8月5日付の報道によれば、日本とインドネシア間で高温ガス炉（HTGR）開発に関する協力協定が合意され、実証炉がインドネシアに建設されるかもしれない。日本原子力開発機構（JAEA）は、インドネシア原子力庁（Batan）と2007年5月に締結したHTGR研究開発に関する協力協定を延長すると発表した。Batanは原子力発電所の建設を推進しており、ジャワ島、マドゥーラ島、バリ島およびスマトラ島の人口が多い離島に、2027年以降、従来型大型軽水炉の導入を計画している。カリマンタン島、スラウェシ島などの離島では、小型HTGR（100MWe以下）を計画している。